

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社 編

日本關東憲兵隊報告集（第四輯）20

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

1	中央特别室业务月报(康德九年三月)	〇〇一
2	中央特别室业务月报(康德九年四月)	〇二一
3	中央特别室业务月报(康德九年九月)	〇六二
4	中央特别室业务月报(康德九年八月)	二一〇
5	中央特别室业务月报(康德九年十月)	三六四

康德九年三月業務月報

中央特別室

第一 業務概況

本期間中ニ於ケル檢閱數三二、四九六件、開披數一二、六六七件、二種（繪葉書）九〇九件内錄取件數七三七件ニシテ前月ニ比シ二三七件増加ス。

固定目標ニアリテハ引續キ嚴密ナル檢閱ヲ實施シ益々潛行巧妙化シツツアル目標ノ發見ニ努メアル一方地域目録

廳、官衙街ノ一部ニ就キ之ヲ實施シ、特ニ

ノ捕出ヲ續行シツツアリ、尙シペリヤ經由中立國向郵政路再開ニ
ヨル郵便物ハ一ツノ脱逸ヲモク期シ、上海ニダヤ情報局ヲ經由ス
ルモノ亦嚴戒ヲ加ヘタリ。

米英側、通信ニ代リテ獨伊佛側ノ通信増加シ、上海、廣東、北京
、天津等トノ間ニ活潑化シツ、アルニヨリ特ニ精密ナル偵牒ヲ實
施セリ。

從來提報セシ「大東亞戰爭關係情報」ハ三月二十五日第十四期ヲ
以ツテ之ヲ完了シ、爾後特殊情報資料トシテ綜合情報ヲ提報スル
如ク企圖シアリ。

尙本月報ノ外各地方特別至月報ヲ取換メ本業務ノ考ニ資ス、ノ
計畫中アリ。

第二 通信内容

本期間錄取中ノ通信内容ヲ綜合スルニ

1. 一般目標依然低調
2. 時局情報及一般情報激増
3. 各派寺リスト教團體ノ活動依然沈滞
4. 滿系容疑通信減少
5. 日、鮮系間ニ於ケル兩方進出ニ關スル通信増加
6. 大東亞戰ノ戰果ニ伴ヒ物資缺乏生活難ヲ感シ、
責任ヲ果サントスルノ意ヲ表スル通信、
主トシテ滿、鮮、白系間ニ於テハ甚

モノ稍々増加ノ傾向アリ

7. 鮮系間ノ民族の差別ヲ訴フル通信漸次増加

8. 獨乙側ノ宣傳増加

9. 其他一般的ニ商業閑散、重要物資購入ニ對スル困難、郵便不確實等ヲ報スル通信

等ニシテ本期間中ニ於ケル主アル通信内容概略左ノ如シ

→ 防諜關係 (目標)

(一) 外國公館

ノ人事

(イ) 獨乙公使館

◎ 新京獨公館參事官? 「フー」

發 新京獨乙公使館 フート

受 南京獨乙大使館 エルゼ、ビンダー嬢

一 三月四日 録第八六八

三週間ノ賜暇ヲ願ヒ出テ許可サレマシタノテ職務上支障無キ場合ハ三月末カラ休暇ヲ取ツテ北京テ過ス積リテス。ソレテ何カ故障カ起ラアカツタナラハ、三月中旬頃正確ニ旅行日程ヲ打電出來ルト思ヒマス。

◎ 獨公使「ウアグナー」東京、神戸、上海、南京、北

京へ旅行

發 新京 ルード、グキツヒツ、エルデ

受 北京 獨大使館 ニムツーム

三月十九日 録第一一

今朝「マイ」サンニ電報打ツタ、公使ノ「ウアグナ」
 「カ明日立ツテ東京、神戸、上海、南京、北京へ行キ
 四月廿五日歸京ノ旨知ラセタ。

◎

新京獨公館員「ハインリツヒ、レオエレケ」赴奉
 發 新京 獨乙公使館 ハインリツヒ、レオエレケ
 受 上海 カ「ロウイツ商會」グスターフ、レオエレケ

三月廿六日 録第一二二七

私ハ木曜日ノ午後カ晩方ニハ旅立ツテ奉天ニ行キ月曜
 日迄テ滞在スル豫定テ適當ノ時ニ御手紙ヒケマス。必
 要アレハ御打電モスル積リテス。

(ロ) 伊太利公使館

◎ 新京伊太利公使館員「パオロ・ムツサ」賜暇旅行

發 新京 パオロ・ムツサ

受 北京 アイリントン、ミューラー

三月二十日 録第一一七五

公使ハ三月末カラ四月末迄約一ヶ月間休暇ヲ取レト云
ハレル、タカラ近イ中ニ貴女ノ處へ行ケルヨ、金イ其
ノ他ノ件テ天津ニ一寸逗留シテケレハテラアイカラ北
京ヘハ多分四月三日ノ午後五時二十五分カ乃至ハ四月
四日ノ午後十一時五十分ニ着クタラ、正盛ノ日待ト
當地出發前ニ警報ヲ知ラセスル

2 内部ノ動向

◎ 在滿洲里獨領事ノ海拉爾、滿洲里ニ於ケル訪問先軍官

人名表

發 滿洲里 獨乙領事館

受 新京 獨乙公使館

三月三日 錄第八三三

同封ノ人名錄ハ海拉爾、特務機關作製ニ係ルモノテ小官
力海拉爾及滿洲里ニ於ケル公式訪問ヲ行フ可キ公人々名
錄テアル、(海拉爾守備隊司令官陸軍中將喜多閣下外二
十三名ノ海拉爾、滿洲里ニ於ケル首腦部ニ於ケル口録)

◎ 滿洲里獨領家屋明後ニ關スル指示

發 滿洲里 獨乙領事館

受 新 京 獨 乙 公 使 館

三月三日 錄 第八三六

吾方前此里領事館カ現今ノ家屋賃貸借ヲ四月十四日ニ解
約セントスルアラ當館ハ本日既ニ家屋明渡シノ旨豫告ス
ルヲ要スル事ヲ御報告申シ度イト存シタノテアル、然シ
將來家屋賃貸借契約ノ際家屋ヲ更ニ遞減セシメントセハ
今ヨリ豫約ハ出來アイノテアル、貴下宛ニ幾キニ上ケタ
弊紙ニ基キ既ニ公使ト御了解済ミタルヤ否ヤ弊方ハ一向
ニ存セサル處アルヲ以テ出來得可クンハ明ケ渡豫告ニ關
シ公務上ノ御指令仰千度イ。

◎ 滿洲里獨領駐劄一時閉鎖ニ對スル

發 滿洲里 獨乙領事館

受 新 京 獨 乙 公 使 館

三月五日 錄 第 四 九 一

「ヘマツヘル」鐵道會社支社ノ閉鎖ニ連レ、該會社業務ノ保護ニ關スル事務モアイ、又一方居留民モ居アイノタカラ從ツテ居留民保護ノ仕事モ問題トアラシテスカラ仕事ト言ヘハ視察ト宣傳テアル、其ノ中宣傳ハ滿洲國ノ他ノ地點カラテモ出來ル今回ノ戰爭モ長期ニ亘リ、從ツテ故郷カラ斯ク絶縁セラルル情勢モ長ク續ク事ヲ考ヘルト假令貧弱ノ活動力トハ云ヘ滿洲國ノ他ノ場所テ勵メ方カ更ラニ適スルニ非スマト振リ返ツテ考メル氣ニモアル

生活ハ獨乙居留民皆無以來寂寥甚

情態猶數年ニ及フト謂フ見込ハ決ツシテ魅惑的アモノテハ
ナイ、寧ろ寒心ニ耐エアイモノカアル、右ノ如キ實情ノ許
テハ、果シテ領事館モ此ノ儘持續シ得ルヤ否ヤモ一應考察
スルモ徒勞テハアイテセウ。

◎ 獨公館ノ數字暗號電報

發 滿洲里獨乙領事館 「ベツクマン」

受 新京獨乙公使館

三月十七日 錄第一一五

オ求メニ應シ本日反覆打電申シ上ケタル電報ノ寫シ同封オ
送り申上候

右電報仔細ニ吟味仕候ヒシカ一點ノ錯

ニ目下爭濟ミタル電報ヲ繰返シ打電

ニヤ伺ヒ度ク候。

◎ 獨公館ノ新國法（滿洲國ノ？）獨譯送付ノ件

發 新京 獨乙公使館

受 哈爾濱 獨乙領事館

三月十七日 錄第一一二一

外務省ニテハ新國法ノ件ニ就テ前月十七日付回章ハ第三三四號一ヲ各領事館宛テ直接ニ送付シ奉天領事館ニテハ既ニ同地在留獨乙官公吏ニ上記内容ヲ告知シタリ、就テハ貴館ニ於テモ貴地在留獨乙官公吏ニ右内容御傳ヘアリタシ、一キユールボルン一總領事ハ新國法ヲ獨乙領事館ニ譯シ、之レヲ前月二十四日奉天獨乙商業會議所ニ送位ニ傳達スル様依頼シタリ、其ノ一耶

送リ下サレ度シ。

◎ 中華民國大使館南湖附近ノ土地購入地價調査

發 中華民國駐滿大使館 藤 隅

受 南京 外交部

三月五日 錄第八八八

南湖ノ地價、館員ヲ派シ外務局ト交渉、云フ處ニ據レハ
每坪約南幣二十圓位、六千坪ニ按シテ計算スレハ數合ハ
ス、若シ土地坪數ヲ以テ相互交換スハ比較的計算合フア
リ、宜シク調査ノ上決定御指示アラシコトヲ。

◎ 法幣益々下落、駐外使領館職員給與

發 新京中華民國大使館 王

受 中華民國北京 王 念 劬

三月六日 大東亞 三二五

法幣價格益々下落シ日金トノ比率近來五分ノ一ニ成リ財
政部ハ特ニ通告シ本年一月分ヨリ法幣一、五〇ヨリ三、
〇〇ニ改メラレ日金トノ折合駐外使領館ハ日金或ハ兩幣
ニテ經費ニ二倍増トアレリ、職員委任以上ハ本俸効カス、
勤勞ハ二倍ヨリ五倍ニ改メラレ雇員以下ハ本俸二倍ト成
リ増ヲ防クノテス。

3. 時 同 情 報

(1) 獨 乙 公 使 館

◎ 歐洲國ト歐洲間ニ一シベリヤ一